

10月から高齢者の定期予防接種に、 高齢者の肺炎球菌 予防接種が追加されました

問い合わせ 四国中央市保健センター 28・6054

高齢者の肺炎球菌予防接種の対象となる方には、接種券・予診票を送付していますので、希望される方は医療機関へ予約の上、接種を受けてください。

※肺炎球菌感染症及びインフルエンザの予防接種は、本人の意思に基づき接種するものです。必要性や副反応を理解し、十分に納得した上で接種をしましょう

肺炎球菌感染症

日本人の死因の3番目を占める肺炎は、抵抗力が弱まった時にかかりやすく、高齢者を中心に年間約12万人が亡くなっています。

肺炎を引き起こす病原菌にはさまざまな種類がありますが、高齢者の肺炎の原因で最も多いのが肺炎球菌です。

■接種回数 生涯1回

※このワクチンを過去に1回でも接種したことのある方は、定期予防接種の対象外

■費用 4千円

※生活保護受給者は無料で接種可能

■接種期間

平成27年3月31日（火）まで

■ワクチンの目的と効果

国内でみられる肺炎球菌のうち、

約8割以上を占める23種類の肺炎球菌感染症（肺炎など）について予防効果があり、重症化を防止します。接種後3週間で免疫ができ、効果持続期間は健康な成人で5年以上とされています。ただし、全ての肺炎を予防するものではありません。



■対象者

○今年度、65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳・101歳以上になる方

○接種時に60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫低下の重度障がい有する方

インフルエンザ

主な症状は38℃以上の高熱、頭痛、関節痛、のどの痛み、咳、鼻水などで普通のかぜより全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併しやすい感染症です。特に高齢者や慢性疾患のある方は重症化しやすく死亡率が高くなるので注意が必要です。

■接種回数 年1回

■費用 1千円

※生活保護受給者は無料で接種可能

■接種期間

10月15日（水）～12月31日（水）

■ワクチンの目的と効果

毎年変化するインフルエンザウイルスに対応したものが作られ、インフルエンザの発病や重症化を防止します。65歳以上の高齢者に対して行った調査では、発病予防効果が34～55%、死亡を防止する効果は82%と報告されています。流行前の12月中旬までの接種が望ましく、接種後、約2週間で免疫ができ、効果は約5か月間持続します。

■対象者

接種時に65歳以上の方及び接種時に60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫低下の重度障がい有する方

接種できる医療機関

高齢者の肺炎球菌については、ご案内の接種券裏面に記載しています。高齢者のインフルエンザについては、かかりつけ医または保健センターへお問い合わせください。

※県外の医療機関（三豊総合病院を除く）で接種を希望される方は、事前に保健センターへの申し込みが必要です

水痘ワクチンが予防接種法に基づき定期接種に追加されました

対象者 ※1、2	接種回数 ※3
1歳～3歳未満のお子さん	3か月以上（標準的には6～12か月）の間隔をおいて2回接種
3歳～5歳未満のお子さん（平成26年度のみ）	平成26年度（平成26年10月1日～平成27年3月31日まで）に限り、経過措置として、1回接種

- ※1 すでに水痘にかかったことがある方は対象外
- ※2 任意接種として水痘ワクチンの接種を受けたことがある方は、接種した回数分を受けたものとみなします
- ※3 1回目の接種が3歳未満であっても、2回目の接種が3歳を超える場合は、2回目は定期予防接種（無料）になりませんので注意してください

接種できる医療機関（平成26年度）

大坪小児科・川上こどもクリニック・四国中央病院・鈴木医院・中央クリニック・福田医院・ふじえだファミリークリニック・眞鍋医院（五十音順）

※接種券・予診票は、右記医療機関や各保健センターに設置（必ず母子健康手帳を持参してください）